

## ■ グループ紹介

# 大成建設株式会社

## 1. 沿革

明治6年11月大倉喜八郎は、資本金15万円をもって大倉組商會を創立し、機械などの直輸入貿易をおこすとともに諸建造物の造営に当たったのが、当社の起源です。

明治20年3月大倉喜八郎は、渋沢栄一、藤田伝三郎と相はかり、資本金200万円をもって有限責任日本土木会社を創立して、上記大倉組商會の業務の内、土木関係に関するものを分離しこれを継承しました。これが当社の前身であり、又わが国における会社組織によつた土木建築業のはじめです。

明治25年11月有限責任日本土木会社は解散し、その事業を大倉喜八郎単独経営の大倉土木組に継承しました。

明治44年11月大倉土木組は、株式会社大倉組に合併され株式会社大倉組土木部と改称しました。

大正6年12月株式会社大倉組より分離して資本金200万円の株式会社大倉土木組となり、ここに当社が名実ともに誕生しました。

その後幾多の変遷を繰り返し、昭和21年1月大成建設株式会社と改名し、現在の社名が誕生して現在に至っております。

## 2. 事業内容

当社は、建設業法により特定建設業者として昭和62年11月24日建設大臣許可（特-62）第300号の更新を受け、土木建築その他建設工事全般に関する事業を行っています。

又、宅地建物取引業法により宅地建物取引業者として昭和62年9月21日建設大臣免許（7）第607号の更新を受け、住宅及び不動産取引に関する事業を行っています。

## 3. 研究開発活動

当社の研究開発は、社会、経済の変化に対応すべく、新フロンティアへの挑戦、新分野・新領域の開発、建

設商品の高度化・高付加価値化を目的として、ソフト及びハード技術の研究開発を効率的に推進しています。

エネルギー・資源については、資源開発から原子力、火力、水力、LNG、石油、石炭そして新エネルギーとエネルギー全般について研究開発を行っております。

当社で研究開発した建築に係るエネルギー有効利用システムとしては、VAVダクトレスシステム、エアバリアシステム、ユニット型水蓄熱システム、個別空調システム（セットウォール）、ビル管理システム（ビルックス）、ソーラーシステム、追尾式太陽光発電システム、コージェネレーションシステム、パッシブソーラーシステム、水蓄熱システム等があります。

### (1) VAVダクトレスシステム

天井内をプレナムチャンバーとして利用し、ダクトをなくしたダクトレス空調システムと、可変風量型空調機を組み合わせた空調システムです。可変風量方式のため送風機用電力量が軽減でき、吹出口毎に吹出風量が調節可能なため室毎の温度コントロールができます。

### (2) ユニット型水蓄熱システム

冷房用のエネルギーの蓄熱媒体として氷を用いる蓄熱システムです。昼間の冷房用エネルギーとして安価な夜間電力を使用することができます。小さな蓄熱槽に多量のエネルギーが蓄熱できるため槽の設置スペースが小さくできます。

### (3) ビル管理システム（ビルックス）

建物内設備機器の運転管理、制御を行うことにより、運転エネルギーの節減を図ると同時に保守要員の削減ができます。また火災関連情報の管理を行い、火災時における迅速な対応を可能とします

### (4) 追尾式太陽光発電システム

傾斜させた回転軸上に太陽電池を取り付け、太陽を追尾させる方式です。太陽の軌跡に合わせて太陽電池モジュールを回転させ、太陽光の方向と太陽電池面の方向を一致させることにより、高効率な発電を行ないます。

## (5) パッシブソーラーシステム

快適な室内環境をつくるために、化石燃料を極力用いないで、太陽熱や風力などの自然エネルギーを積極的に利用するシステムです。太陽熱の床や壁への蓄熱、建物内外の温度差を利用した自然換気などの手法を用います。

## (6) E-Rシリーズ (Energy and Resource)

建物における省エネルギーについて設計から施工及

び維持管理まで一貫して考えていくなかで、大成建設が独自に開発し、蓄積してきた省エネルギー技術です。

この省エネルギー技術「E-R (エル) シリーズ」を採用した場合、一般ビルに比べて最大45%ものエネルギー節減効果があります。

所在地：〒163 東京都新宿区西新宿1-25-1

(文責：エネルギー部副課長 室伏 裕一)

## 協賛行事ごあんない

## 「第11回光がかかわる触媒化学シンポジウム」開催について

主催 理化学研究所、触媒学会

協賛 エネルギー・資源学会ほか

日時 平成4年6月5日(金)

場所 理化学研究所(埼玉県和光市広沢2-1)

## 依頼講演

1. 人工光合成モデル……金子 正夫(理研)
2. 錯体光触媒による合成反応  
……田中 正人(化技研)
3. 半導体の電子構造と光励起  
……藤嶋 昭(東工大)
4. 固相における光触媒作用  
……安保 正一(阪府大)
5. 半導体触媒による水の光分解  
……井上 泰宣(長岡技大)
6. 大気環境と光触媒……指宿 堯嗣(公害資源研)

◎講演申込締切 2月14日(金)

申込者には所定の原稿用紙を送付します。

◎講演要旨締切 5月8日(金)

参加費 登録無料(当日受付のみ)

要旨集は当日配布(2000円)

懇親会 当日受付(2000円予定)

## 申込先

〒351-01 埼玉県和光市広沢2-1

理化学研究所 反応物理化学研究室

金子 正夫

TEL 0484-62-1111 (内線 3652)

FAX 0484-62-4668